

科目名	精神障害作業療法学演習【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	青 山 宏・小 松 洋 平						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必修（作業）
授業の概要 及びねらい	精神障害作業療法学で学んだ知識をもとに、対象者に対する障害の評価および援助すべき点の焦点化、治療計画立案について、まとめ・表現できるようになることを目的に、演習や実技を通して学びます。						
授 業 の 到達目標	1) 精神障害作業療法の評価を行うことができる。 ・情報収集・記録・報告を実施することができる。 ・面接と観察を実施することができる。 ・質問紙を用いた評価を実施することができる。 2) 症例の全体像を把握することができる。 3) 症例の援助すべき点の焦点化および治療計画立案ができる。 3) 上記1) から3) について、文章で表現し、他者に伝えることができる。 4) 症例検討を通じ、作業療法の評価と実践を行うことができる。						
学習方法	演習・実技						
テキスト及び参考書等	参考書：精神障害と作業療法 第2版 山根寛 三輪書店						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○				60
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度		◎	○	◎			40
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	精神障害作業療法の評価（生活史・情報収集）（青山）						
第 2 週	精神障害作業療法の評価（面接・コミュニケーション能力）（青山）						
第 3 週	精神障害作業療法の評価（作業遂行能力の観察と記録）（青山）						
第 4 週	精神障害作業療法の評価（作業遂行能力の観察と記録）（青山）						
第 5 週	精神障害作業療法の評価（自己受容、ニーズの把握、生活能力）（小松）						
第 6 週	精神障害作業療法の評価（集団内での行動観察と記録）（小松）						
第 7 週	症例の全体像の表現方法（青山）						
第 8 週	症例の全体像の表現方法（青山）						
第 9 週	援助すべき点の焦点化（小松）						
第 10 週	援助すべき点の焦点化（小松）						
第 11 週	治療計画立案方法（小松）						
第 12 週	治療計画立案方法（小松）						
第 13 週	症例検討（青山・小松）						
第 14 週	症例検討（青山・小松）						
第 15 週	治療の実際（青山・小松）						
第 16 週	経過報告（青山・小松）						
備 考	講義前には、教科書等に目を通すなど事前準備をしておいてください。講義後には、講義内容の振り返りなどの復習もするようにしてください。						